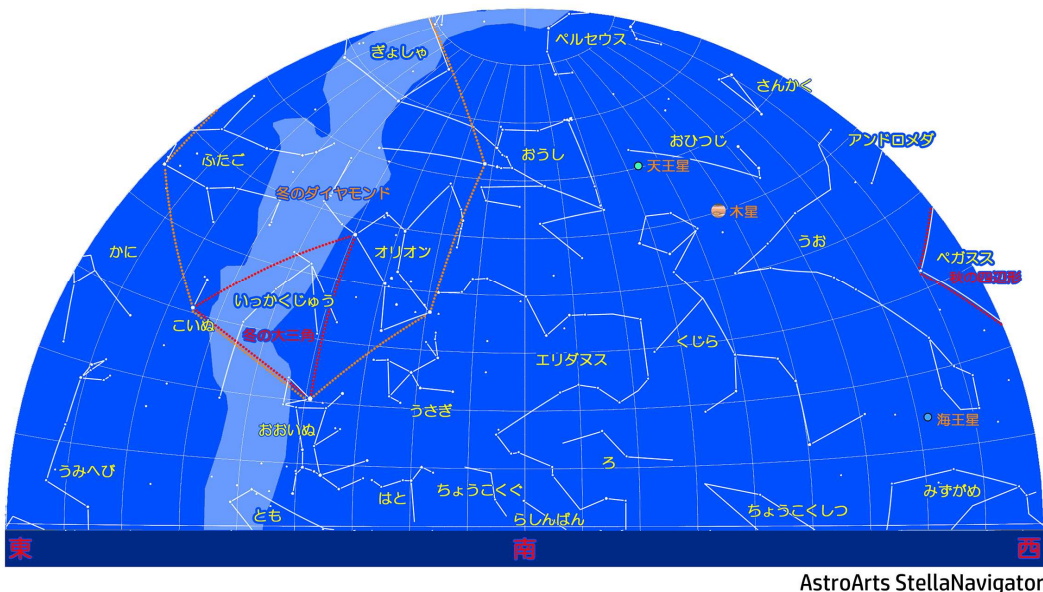




銀河の森天文台

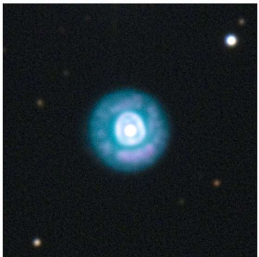
2024年1月みどころ天体情報

1月の星空(15日 20:00頃)



AstroArts StellaNavigator

NGC2392(惑星状星雲)



ふたご座に位置する惑星状星雲で、1787年にウィリアム・ハーシェルによって発見されました。毛皮のフードを被ったエスキモーのような姿から「エスキモー星雲」と呼ばれています。

りくり望遠鏡では、わずかに緑がかった青色が美しく印象的です。空の条件が良ければ、毛皮のフードの部分の模様も見えてきます。

距離：約1360光年

イベント・天文現象

1月

～3(水) 年末年始休館
4(木) しぶんぎ座流星群が極大
13(土) 水星が西方最大離角
18(木) 月面X
31(水)～ 冬の大三角と天体観望会

2月

～11(日) 冬の大三角と天体観望会
4(日) 立春
28(水) 水星が外合
29(木) 土星が合

月

	出	没
4日 ● 下弦	--:--	11:05
11日 ● 新月	06:59	15:27
18日 ● 上弦	10:31	--:--
26日 ● 満月	16:39	07:28

天文台から月を見ることができるのは13～28日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

M42(散光星雲)

オリオン大星雲と呼ばれ冬を代表する天体のひとつです。望遠鏡では、星雲の複雑な模様を観察することができます。中心部には生まれたばかりの4つの星（トラペジウム）が四角く並んでいます。

距離：約1400光年

シリウス(重星)

おおいて座のシリウスは夜空に輝く恒星の中で一番明るい星です。シリウスは実視連星で、気流が安定した夜には伴星のシリウスBを見ることが出来ます。天文台ではシリウスBチャレンジを行っていますので是非ご参加下さい。

距離：約8.6光年

木星

太陽系で一番大きな惑星で、その直径は地球の約11倍にもなります。大赤斑と呼ばれる巨大な渦と、縞模様が特徴的です。ガリレオ衛星と呼ばれる、特に明るい衛星が4個あるので探してみましょう。

太陽からの距離：約7億8000万km

M82(銀河)

おおぐま座に位置する銀河で、低倍率では近くにあるM81と同一視野に見ることができます。スターバースト銀河と呼ばれる非常に活発な星形成が行われている銀河です。

距離：約1200万光年

その他おすすめ

M1 (超新星残骸)
M37 (散開星団)
M44 (散開星団)
M81 (銀河)
NGC1514 (惑星状星雲)
アルマク(重星)
アキルド(重星)

開館情報

1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

開館時間

14:00～22:30
(4月～9月)
13:00～21:30
(10月～3月)

休館日